※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１２

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	マルチメディア応用Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的な作例をあげて、解りやすい指導を心がける。作品が完成するまでの過程を重視し、計画的に制作していけるよう指導する。デジタルによる静止画を作成できるスキルを身に付けることを目標とする。

2　学習の到達目標

・コンピュータを用いて静止画を作成する方法を身につける。
・ラスターデータとベクターデータの意味や違いを理解しどちらもそれぞれの特徴を生かした活用を判断できるようになる。
・またこれらを用いて製作・加工・編集を行い、各自の作品を制作できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ラスタデータ（JPG など）とベクタデータ（ベジェ曲線など）の違いについて学び、ベクタデータの作成ができる。また、ラスタデータの効果的な編集加工について学び、写真等の編集加工ができる。	画像の作成などを通してオリジナルの作品を作成することができる。また編集の手段などを目的に応じて判断し、実行できる。	より良い作品を作るために粘り強く取り組む。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己表現・発表	Word で文字と画像の文章編集ソフトの利用1 自己紹介のファイルを作成 画像ソフトで名刺を制作	a: 動画データの加工方法の習得し適切に表現できる b: パワーポイントを通して目的に応じた発表ツールを作成することができる。 また発表を適切に行うことができる c: より良い作品を作るために粘り強く取り組み映像データの転送などの技術。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート 等
2学期	2次元データ加工	イラストレーター(ベクター)及びフォトショップ(ラスター)の違い及び それらのデータ加工	a: ラスタデータ（JPG など）とベクタデータ(ベジェ曲線など)の違いについて学び、ベクターデータの作成ができる。また、ラスターデータの効果的な編集加工について学び、写真等の編集加工ができる。 b: 画像の作成などを通してオリジナルの作品を作成することができる。また編集の手段などを目的に応じて判断し、実行できる。 c: より良い作品を作るために粘り強く取り組む。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート 等

※令和４年度以降入学生用

3学期	加工データの応用	スライドショーの製作 LINE スタンプ	a: ストーリーに応じて写真を配置し作品としてのスライドショーを作成することができる。またこれまでこれまでの知識を生かして、最後に LINE スタンプのデータを作成し公開することができる。 b: 画像の作成などを通してオリジナルの作品を作成することができる。また編集の手段などを目的に応じて判断し、実行できる。 c: より良い作品を作るために粘り強く取り組む。また、他者の作品を見て客観的に評価を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 小テスト 実技テスト レポート 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 小テスト 実技テスト レポート等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作業・製作品 振り返りシート 自己評価 実技テスト レポート等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度